

(5) 上越教育大学基金運営委員会**① 設置の趣旨（目的）及び組織****ア 組織設置の趣旨（目的）**

上越教育大学基金運営委員会は、広く社会から寄附を受け入れることにより、本法人の財政基盤の強化を図り、上越教育大学における学生支援活動、教育研究活動及び地域貢献活動等の推進を図るとともに、キャンパス環境の整備・充実に資することを目的とした上越教育大学基金（以下「基金」という。）に関する重要事項について審議することを目的として設置されている。

イ 組織の構成及び構成員等

委員会の委員長は学長であり、学長が指名した理事2人、副学長1人、教員若干人、上越教育大学振興協会から推薦された者1人、上越教育大学学校教育学部同窓会の役員のうちから推薦された者1人、上越教育大学大学院同窓会の役員のうちから推薦された者1人、各附属学校の後援会の役員のうちから推薦された者各1人、その他学長が特に必要と認めた者若干人により構成されている。

② 運営・活動の状況**ア 委員会等の開催状況**

平成30年度は、委員会を2回開催した。

イ 審議された主な事項

主に次の事項について審議した。

- i)平成30年度決算
- ii)平成31年度事業計画
- iii)平成31年度予算

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

平成30年1月に創設した修学支援事業基金への寄附及び平成30年度の創立40周年記念事業に伴う募金活動による寄附の状況を踏まえ、平成31年度以降の事業計画の検討を進めた。

③ 優れた点及び今後の検討課題等**ア 国立大学法人への寄附に対する税額控除制度創設への対応**

平成30年1月に創設した修学支援事業基金への寄附金及び平成30年度の創立40周年記念事業に伴う募金活動による寄附金を活用した、2019年度以降の事業計画の策定に際しては、当該事業の内容が基金の趣旨（寄附者の意向）に添ったものであるかといった観点から検討を進めた。

また、2019年度以降の基金を活用した事業計画への予算配分に関しては、優先事項として、本学が第3期中期計画に掲げる「学生に対する奨学事業」に係る取組の達成が可能となるよう予算を確保することを確認した。

イ 検討課題等

基金を活用した事業計画の策定に際しては、当該事業の内容が基金の趣旨（寄附者の意向）に添った観点から繰越額及び今後の収入見込み等を踏まえつつ、慎重に検討を進める必要がある。